

令和7年度 第3学期始業式 式辞

皆さん、あけましておめでとうございます。令和8年、2026年が始まりました。そして、令和7年度仕上げの3学期のスタートです。

昨年末、卓球部男子が団体で10年振り3度目の全国選抜大会出場を勝ち取ってくれました。おめでとうございます！県で優勝し、そして、四国大会予選リーグで他県の強豪校を次々と破り、全勝で決勝にコマを進め、決勝では、全国でも強豪校として知られる明徳義塾に敗れましたが、今年3月に新潟県上越市で行われる全国選抜大会に向けてのモチベーションが上がったことでしょう。また、演劇部の四国大会も素晴らしいと聞いています。行けなくてごめんなさい。一気に四国大会を勝ち上るのが一番かもしれません、悔しい思いをしながら、人は成長していきます。どの部活動も、悔しさの一方で、強敵やライバルの背中が見えた充実感もあったはずです。間違いなくバージョンアップしたはずですから、くじけずに前を向いて進んでほしいと思います。

三年生の皆さん、いよいよ共通テストが近づいてきましたが、実はまだ10日もあります。一日5点アップ作戦を諒々と敢行してください。私が担当していた地歴・公民科の科目はテスト直前まで点数が伸びます。まだまだ。焦らず、できることをコツコツと。そして、共通テストの後は私大入試や国公立二次試験へと続いていきます。テーマは“最後まであきらめない”です。あきらめなければ、道は開けてきます。

年末年始は、暦の関係で、ゆっくりできたというご家族も多かったのではないかでしょうか。私も家族との時間を過ごし、リフレッシュすることができました。年末にはM1グランプリで「たくろう」を応援しました。今の北高にも、かつて木村太一さんに関わった方がたくさんいます。テレビの前で、大笑いしながらも感動で泣きました。高校生のさんは、勉強と部活動・習い事等で、相変わらず忙しかったかもしれません、今の生活の積み重ねが将来に繋がります。家族や友人との時間、あるいは趣味の時間など、Offの時間を大切にしてください。それらの時間をうまく作り出し、人生を充実させてください。その中に、笑える瞬間がないといけません。今の皆さんにとって、ポイントはやはり友人のような気がします。2026年も、喜びや苦しみ・悲しみを分かち合う友を大切にして進んで行きましょう。

以上、式辞といたします。